

るにあたってたくさん基金を取り崩さなければならなかった中で、財政再建計画の骨格がつくられこつこつ対応ができたのは、評価できる点だと思つ。今後も相当シビアに各費用の削減をやらなければ、予定以上の取り崩しの可能性もあり、非常に慎重にならねば十分理解できる。

ただ、減量経営一本では市民からもやはりいろんな思いが出てくる。いろんな費用負担は上がってくる中で財政は黒字では、行政に対する批判は出てくるし、当然この効果額は市民に対して効果を還元することも、大きな一つの手だて。

当然これだけの基盤ができてきたのは、市長始め皆さんの努力で、もちろん市民の負担もあります。そつこつの中で、この効果額を十分に発揮するためにも、学校建設の具体化計画をしていくべきではないか。

A 財政再建計画が目標

以上の効果額を大いに活用してはどうか、特に、学校建設ということですが、確かに、前期5カ年において

もいまの予定では19年度末で4億5,600万円ほどの目標以上の効果額が出る計算になっていきます。ただ大きな不安要素がたくさんありますから、基金でおいておくということは、それはその分安心なわけです。みんなに努力をしていただいで、我慢していただいで、この結果が出ていくわけですから、当然そつこつ話し合いの中でそれをいかに活用していくかは、今後の課題ということ、議会との議論の中で進めていきたいと思ついます。

「つどいの広場」 「ねびめキッズ」

Q 根日女キッズは月曜から土曜までの開設

で、利用は午前10時から午後3時までで無料。小学校の教師とか保育園勤務などの経験者が、子育て支援委員として二人が常駐し、母親でつくる子育てボランティアが運営に協力することだが、3月議会とか予算委員会での執行者の説明と全く異なつてい

る。当初の説明では、子育ての中核的な施設で相談も含め子育てに関するいろんなことを対応できる、ワンストップの保育サービスセンターで、年中無休とのことでしたが、いまの段階で全然違ったものになつているのはなぜか。また、専門的な相談や情報が必要な方への対応はできているのか。

A この運営は、参加者の自主的な創意のもとに決定するところが、この自主運営とはどのような形態なのか。

開設の曜日は、年中無休で、時間もできれば9時ごろから5時ごろまで開設したいと思つを述べたことがあります。しかし、実際には平日月曜から土曜日まで、そして時間は午前10時から午後3時まで開園となりました。

議会での説明と違う内容になったことは、お詫びをしなければいけません。運営委員会を自主的に参加者の皆さん方で立ち上げられ、各参加者の意思でもって何度も集まれ、曜日より時間は決めら



れた経緯があります。今後新しく参加される方を含めて、今後もなお話し合いを続け、よりよいものにしていけたらと思ついます。

それから、専門的な相談は、保育士の免許を持ち経験を積んでこられた保育士の先生方を5名お願ひしています。医療面等の相談はまだ無理ですが、保育面の相談はできます。

自主運営の形態は、施設管理と施設運営は、行政の方で提供し運営。利用は、当初の我々の望みでもあり、参加者の希望・要望でもありますように、参加者の皆さんで今後、改善も含めてされることに

なつていきます。

広場の目指すものは、だれでもいつでもどこからでも気軽に参加でき、自分たちの悩みを解決し、目的を達成できる施設にしたい。保育相談を我々で担当し、中の運営につきましてもできる限り自主運営でと考えています。

入札改善策

Q 最近の委託業務の入札改善策について、

立派な効果があったと聞か、その内容はどのようになっているか。

A 委託業務のうちエレベーターの保守点

検、また各施設の清掃・運転・管理業務等の入札改善は、従来より議員からご提案をいただき、入札参加者審査委員会でも審議し取り組んできました。

過去には談合防止の観点から、委託業務も指名入札の同一メンバーの下請け禁止を導入、また従来は業者選定について各設備の専門メーカーを重点的に指名した結果、同一